新庄信用金庫レポート

DISCLOSURE （平成２９年９月末）

SHINJO SHINKIN BANK

ごあいさつ

信用金庫は、協同組織形態の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信認を得てまいりました。

最近の日本経済は、需給ギャップが解消しつつあり、次のステージに進む基盤は整備されてきているとされております。しかしながら地方経済や小規模事業者にとっての経営環境は厳しく、特に従業員１９人以下の事業者の景況判断指数いわゆるＤＩが大企業・中堅企業でプラスに転じているにもかかわらず、相変わらずマイナスであるように引き続き低迷しており、卸売業・小売業・サービス業においては特に深刻な状況が続いております。

以上の経営環境のもと、お客様との「共通価値の創造」構築に向けて、地元になくてはならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』ことを経営理念とし、役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成２９年１１月

理事長　井上　洋一郎

CONTENTS

１．金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

２．自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

３．預金・貸出金の状況（残高）

４．貸出金の内訳（業種別区分残高）

５．時価のある有価証券の評価差額（単体）

６．総代会の機能・総代の氏名等

７．ＣＳＲ進捗状況

８．地域貢献

９．トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

１．金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	平成29年9月末	平成29年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,011	1,098
危険債権	1,964	1,895
要管理債権	669	710

（注）　上記の平成２９年９月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続しておりません。

１．　平成２９年９月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年３月末時点における債務者区分を前提とし、同年３月末から９月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。

２．　平成２９年９月末の「要管理債権」の金額は、同年３月末時点における債務者区分を前提とし、同年３月末から９月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに３ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

　また、平成２９年３月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

※　債務者区分

・破産更正債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
・危険債権（破綻懸念先）
・要管理債権（要注意先のうち、利払いが３ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

２．自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：%、百万円）

項　　目	平成２９年９月末	平成２９年９月末（経過措置による不算入額）	平成２９年３月末	平成２９年３月末（経過措置による不算入額）
単体自己資本比率	12.38	－	11.49	－
コア資本に係る基礎項目の額	5,260	－	4,951	－
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	3	2	3	2
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	－	－	－	－
前払年金費用の額	84	56	66	44
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	－	－	－	－
コア資本に係る調整項目の額	88	－	70	－
自己資本の額	5,172	－	4,881	－
リスク・アセット等の額の合計額	41,769	－	42,474	－
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,670	－	1,698	－
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	140	－	140	－
単体総所要自己資本額	1,811	－	1,839	－

３．預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	平成２９年９月末	平成２８年９月末	平成２９年３月末
預金	68,029	66,692	66,186
貸出金	39,536	38,798	40,125

４．貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	平成２９年９月末	平成２８年９月末	平成２９年３月末
製造業	2,488	2,959	2,568
農業、林業	419	291	434
建設業	2,446	2,359	2,549
運輸業、郵便業	356	372	363
卸売業、小売業	2,262	2,235	2,254
金融業、保険業	2,132	2,053	2,203
不動産業	7,764	7,539	7,601
物品賃貸業	42	51	47
学術研究、専門・技術サービス業	5	22	18
宿泊業	709	632	643
飲食業	630	631	633
生活関連サービス業、娯楽業	402	674	683
教育、学習支援業	117	121	132
医療、福祉	1,602	1,381	1,500
その他のサービス	3,230	3,268	3,424
小　　計	24,612	24,596	25,060
地方公共団体	1,073	1,158	1,537
個人（住宅・消費・納税資金等）	13,851	13,043	13,527
合　　計	39,536	38,798	40,125

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

５．時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

		平成２９年９月末				平成２９年３月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
				うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券		14,193	△ 171	272	444	16,189	△ 398	250	648
	株式	377	△ 26	5	32	345	△ 31	8	40
	債券	611	0	5	4	1,414	△ 2	7	10
	その他	13,203	△ 145	261	407	14,430	△ 365	233	598

	平成２９年９月末				平成２９年３月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）１．　平成２９年９月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成２９年９月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。
２．　満期保有目的の債券に係る含み損益は、決算上に影響しません。

６．総代会の機能・総代の氏名等

【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高議決機関です。

【総代の氏名等について】（平成２９年９月３０日現在）

１.総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任回数（丸内数字）	
新庄地区	３３名	藤田　敏雄⑨	吉田　慶一④
		井上　光雅⑨	片岡　潤二④
		五十嵐　敏三⑨	富田　久三郎⑨
		沼澤　孝人⑧	富樫　利宏⑧
		稲川　辰也⑨	阿部　克④
		沼澤　正則⑧	海藤　健治⑥
		山科　昭雄⑧	井上　貞治⑥
		阿部　浩悦⑧	赤松　正文⑤
		髙橋　友三郎⑨	伊藤　雄一⑤
		森　新昭⑨	佐藤　啓⑤
		清水　一磨⑨	田澤　雅宏⑤
		江口　好彦⑨	長南　雅行⑤
		八戸　啓次郎⑧	早坂　幸久⑤
		菅　信二⑧	森　俊明⑤
		井上　孝雄⑨	涌井　正和⑤
		長倉　洋一郎⑨	涌井　洋一⑤
			結城　敏夫④
最上郡地区	１５名	柴田　清正④	川田　幸一⑦
		佐藤　景一郎⑨	佐々木　重四郎⑦
		笹原　一郎⑨	大場　利秋⑧
		川崎　藤兵衛⑨	青柳　富士男⑤
		岸　伊和男⑨	石山　洋一⑤
		白倉　周二⑨	庄司　和敏⑤
		矢作　勝太郎⑨	熊谷　市夫④
		山科　昌英⑨	
天童・大石田地区	１１名	有路　好彦⑦	垂石　祐一郎⑧
		冨樫　啓一⑨	山口　孝之⑦
		庄司　正彦④	押野　隆吉⑤
		土田　和平⑨	藤橋　与惣吉⑤
		海和　貞三⑨	荒木　正憲⑤
		村山　与四郎⑧	

２.総代の属性別構成比

職業別	比率（%）
法人代表者	57.6
個人事業主	30.5
個人	11.9
合計	100.0

年代別	比率（%）
４０～４９歳	5.1
５０～５９歳	6.8
６０～６９歳	30.5
７０歳以上	57.6
合計	100.0

業種別	比率（%）
製造業	15.2
農業、林業	1.7
建設業	13.5
卸売業、小売業	37.3
不動産業	8.5
学術研究、専門・技術サービス業	3.4
宿泊業	1.7
生活関連サービス業、娯楽業	1.7
医療、福祉	5.1
その他のサービス	11.9
合計	100.0

7．ＣＳＲ進捗状況

CSRとはCorporate Social Responsibility(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティー)の略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。

～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティー)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考え方です。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSR活動に結び付いております。

日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキーム「空き家リノベーションによる新たなネットワークコミュニティ拠点構築事業」実施に関するプレス発表

◆ コーポレートガバナンス（企業統治）

・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着したより良い金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

＜進捗状況＞

・社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。

・国の事業である「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に取り組んでいる山形大学「学金連携プラットフォーム」に参加し、営業係がお客様から承った課題に応じて最適な専門家を派遣しております。

「山形大学認定産学金連携コーディネーター研修・スキルアップ研修」に職員が参加いたしました。現在、１７名の職員が産学金連携コーディネーターとして認定を受け、うち１０名の職員がシニア産学金連携コーディネーターとして認定を受けております。

山形大学の柴田孝教授による企業への現場改善・経営相談を毎月実施しております。

◆ ステークホルダー（当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々）

・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産作りのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってＦＰ(ファイナンシャルプランナー)技能士資格取得を目指し、努力してまいります。

＜進捗状況＞

・日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のＡＦＰ資格とＣＦＰ資格取得に向けた取組みを継続しております。

・大学教授、大手企業経営者による経営塾や、社会保険労務士・コンサルタントによる経営相談を実施しております。

・山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組みを行っております。

◆ エコロジー・社会貢献

・ＮＰＯ法人バイオマスもがみの会と共に、バイオマス（生物資源）の利用研究に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

＜里山地域の「森づくり活動」＞

・５０名の参加者で「森のホームステイによる絆の森ＰＲ活動 in あじさいまつり」イベントを開催いたしました。

・１３９名の参加者で「遊歩道下刈り整備、森の材料で木の時計作り体験、芋煮会」を行いました。

＜新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営、絵画コンクール等＞

・当金庫敷地内において、献血バスによる近隣の住民対象の献血活動を行いました。

・第４回「東北・夢の桜街道」絵画コンクールを開催し、表彰式を行いました。

８．地域貢献

新庄信用金庫と地域社会

～　地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして　～

＜　当金庫の地域経済活性化への取組みについて　＞

当金庫は山形市以北の村山、新庄・最上地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

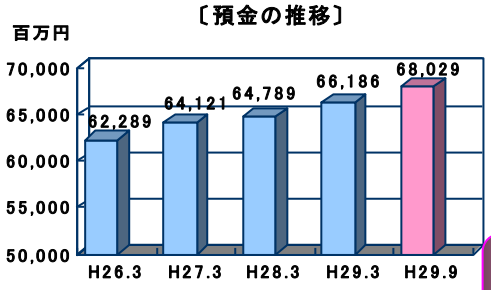
地元のお客様からお預かりした大切なお金（預金積金・出資金）は、地元で資金を必要とするお客様に貸し出され、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の方々との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

新庄信用金庫

◆預金積金残高　【６８，０２９百万円】

当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

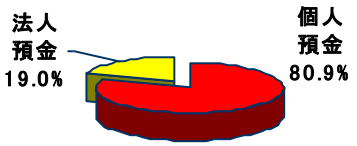
〔預金の推移〕



◆「えほん定期」（夢がかなう本）

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった１冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。

〔預金者別預金残高〕



預金積金／出資金

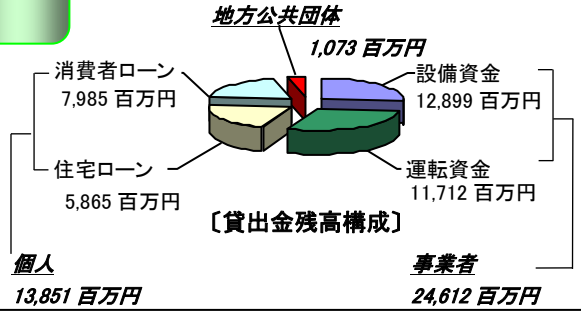
「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

貸出金／支援サービス

◆貸出金残高【３９，５３６百万円】
預金積金に対する割合【５８．１％】

地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約９１．４％をご融資しております。

※その他は地方公共団体等へのご融資です



◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様には親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、金銭面だけでなく生きた支援を心掛けております。

また、お取引先事業経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。

◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「ＮＰＯサポートローン」がございます。

地域のお客様／会員の皆様

９．トピックス

営業エリア拡大

新庄信用金庫は、下記の通り、平成29年11月13日付けで営業エリアを拡大することになりました。今後も、盤石な営業基盤の拡充に努めてまいります。（下線部エリアが今回拡張されるエリアになります）

区分	地　区　名
新庄市	新庄市
最上郡	最上郡一円
その他	新庄市及び最上一円を除く 山形市、天童市、東根市、村山市、尾花沢市 北村山郡、**寒河江市、河北町及び庄内町**

地域貢献・CSR

新庄市エコロジーガーデンの緑豊かな自然環境をキャンバスにしてランドスケープによるアートを展示する「kitokito　環境芸術祭」において協賛しております。

山形大学・最上総合支庁主催の企業向け勉強会「最上夜学」や、イベント・コンサートを定期的にレキシントン新庄にて開催・支援を行っております。

学生のインターンシップを受け入れ、茶道や金庫業務を実際に体験していただきました。

新庄商工会議所・新庄信用金庫・山形大学の三者による【会議所・しんきん・山形大学　経営塾】

新庄商工会議所、新庄信用金庫と山形大学の三者が共同して、新庄最上地域の経営者及び後継者を対象とする「経営塾」を開講しました。この経営塾は、地域の皆様の経営力向上とリーダーとしての見識を高めることを目的とした1年間の育成プログラムが用意され、第一線の経験豊富な講師から最新の経営スキルを学び、それぞれの事業を発展させていく方法を学べる内容となっております。

祝ユネスコ無形文化遺産登録「新庄まつりの山車（やたい）行事」記念定期預金

新庄まつりは、平成２６年３月に文化庁からユネスコ無形文化遺産の候補として提案され、平成２８年１１月に世界の遺産として登録されました。これを記念しまして「祝ユネスコ無形文化遺産登録　記念定期預金」を発売し、集まった預金残高の０．１%相当額となる２００万円を新庄市に贈呈しました。

経済産業省「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」、山形大学との連携

当金庫は山形大学と様々な形で連携しております。特に、山形大学工学部、山形大学国際事業化研究センターとの間では、地元中小企業の事業支援のための連携協力協定を締結しております。

また、平成２９年度も国の事業である「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に取り組んでいる山形大学「学金連携プラットフォーム」に参加し、事業者の皆様の様々な経営課題に関する相談に応じて、適切な専門家による支援を行っております。

山形大学との連携による「産学金連携横町」に参加し、ビジネスマッチ東北２０１７にて６社の顧客企業出展をサポートしました。

日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキーム拠点構築事業の実施

日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキームを活用した「空き家リノベーションによる新たなネットワークコミュニティ拠点構築事業」に対して、今般当該財団より１，０００万円の助成金交付が決定されました。その中で当金庫は、空き家等をリノベーションされる方や、新規創業される方に対する各種ローンの対応、創業支援等を実施することにより、これまで以上に地域の金融仲介機能の発揮を図ってまいります。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」

山形県の森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目指した「やまがた絆の森プロジェクト」において、新庄信用金庫、ＮＰＯ法人バイオマスもがみの会、山形銀行、山形県、柴草山管理組合、新庄市の６者間で「やまがた絆の森『しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』」として協定を締結し、活動を継続しております。

このプロジェクトで私どもは、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するためにバイオマスもがみの会等と共にコンソーシアムを形成し、下記のような活動を行っております。

平成２９年７月９日（日）

「森のホームステイによる絆の森ＰＲ活動」

・新庄市あじさいまつりイベントにて５０名の参加者で「森のホームステイによる絆の森ＰＲ活動 in あじさいまつり」を行いました。

平成２９年９月３０日（土）

「遊歩道下刈り整備、森の材料で木の時計作り体験、芋煮会」

・１３９名の参加者で全長約７００ｍの遊歩道下刈り整備と、森の材料で木の時計作り体験を行いました。

平成２９年１１月発行
新庄信用金庫　総合企画室
〒996-0027　山形県新庄市本町２番９号
TEL. 0233-22-4222（代表）

SHINJO SHINKIN BANK